



第34回

三遠南信サミット 2026 in 遠州

テーマ

共創による変革が未来を拓く

～人口減少時代を生き抜く広域戦略～

2026年 12/21(月)

会場 **浜松マリオットホテル**
（旧グランドホテル浜松）
静岡県浜松市中央区東伊場1-3-1

特設サイト
https://www.sena-vision.jp/sena/summit/no34.html

分科会	全体会	交流会
13:00～14:30	15:00～17:00	17:30～18:30

本サミットは事前申し込み制です。
応募フォームよりお申し込みください。

応募締切 2026年11月27日(金)

- 住民セッション、分科会、全体会は傍聴のみです。
- 参加申込数が上限人数を超えた場合には、抽選にて参加者を決定します。抽選となった場合のみ、後日、事務局よりご連絡いたします。
- 収集した個人情報は、本サミットの運営・連絡、開催後の分析等にのみ使用いたします。

応募フォーム

アクセス

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関や乗り合わせによるご来場にご協力ください。

お車でお越しの場合

- 応募フォームより、利用台数をご回答ください。
- お車は、ホテル東側の立体駐車場にお停めいただけます。駐車券をサミット会場受付までお持ちください。
- ホテルの立体駐車場が満車となった場合は、お手数ですが近隣の有料駐車場をご利用ください。
- 各方面より、東名高速道路「浜松IC」より車で約25分、「浜松西IC」より車で約30分

公共交通機関等でお越しの場合

- 当日は【JR浜松駅 ― 浜松マリオットホテル】間のシャトルバスを運行します。

＜シャトルバス発車予定時刻＞

◆JR浜松駅東側　アクトシティ南バスのりば発
9:00、9:30、10:00、12:00、12:30、13:00、14:00、14:30、15:00

◆浜松マリオットホテル発
14:15、14:45、15:15、17:15、17:45、18:15、18:45、19:15、19:45

※交通状況やサミット進行状況等により、発車時刻が前後する場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 路線バスの場合は、遠鉄バスターミナル【3番のりば】から「【9】鴨江・佐鳴台団地・医療センター行き」もしくは「【9-22】鴨江・大平台行き」へ乗車し、「中部電力」で下車→徒歩約6分
- 浜松駅から徒歩の場合は、JR浜松駅より西へ約20分

主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）　共催：三遠南信地域経済開発協議会　後援：経済産業省、国土交通省

第34回 三遠南信サミット2026 in 遠州

テーマ 共創による変革が未来を拓く ～人口減少時代を生き抜く広域戦略～

人口減少という避けられない潮流は、私たちの社会基盤や地域産業を大きく揺るがそうとしています。しかし、この局面を単なる「縮小」と捉えるのではなく、既存の枠組みを打破する「変革」の好機に変えていかなければなりません。住民の生活や地域経済を維持・発展させ、次世代が希望を持てる地域社会を築くためには、県境という壁を越えた、未来への歩みを共にする、より強固な広域連携が不可欠です。

今年度のサミットでは、「共創による変革が未来を拓く～人口減少時代を生き抜く広域戦略～」をテーマに掲げ、昨年度の議論を踏まえつつ、「サステナブルな広域観光圏」「地域産業のグローバル戦略」「水が育む広域連携」の3つの視点から具体的な施策を展望し、地域の持続的な発展へとつなげます。

分科会 13:00～14:30 《三遠南信地域の自治体・経済界・住民団体の代表者らが各テーマについて議論を交わします》

第1分科会 道 風土 住

サステナブルな広域観光圏としての三遠南信地域について

●コーディネーター
和歌山大学観光学部
学部長／観光学科教授
大浦 由美氏

従来の観光産業は、地域の観光資源を消費する形で観光誘客を拡大するマスツーリズム（大衆観光）を競い合う側面がありました。

人口減少に伴う飲食・宿泊業の人手不足やオーバーツーリズムといった新たな問題が顕在化する中で、その地域のもつ従来の魅力を見つめなおし、旅行者、観光事業者そして地域住民のすべてが持続可能で心地よい「サステナブルな広域観光圏」としての三遠南信地域について考えます。

●会場：レアンジェ

第2分科会 技 人

「稼ぐ力」を高める三遠南信地域のグローバル戦略

●コーディネーター
公益社団法人東三河地域研究センター
常務理事・調査研究室長
髙橋 大輔氏

人口減少時代における地域産業の持続的成長には、ヒト・モノ・カネ・情報を世界とつなぎ、「稼ぐ力」を高めることが必要です。海外販路開拓やインバウンド誘致、外国人材の受入れ・共生といった観点で議論を深め、国際的な物流港湾や特徴ある産業集積を有する強みを活かし、広域連携を軸に外需を取り込み、優秀な外国人人材を獲得していく、グローバル戦略の方向性を探ります。

●会場：飛鳥

第3分科会 風土 住 人

水でつながる三遠南信
～地域資源を活かした広域連携を考える～

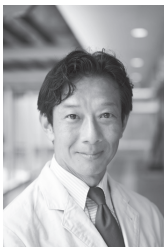
●コーディネーター
愛知大学地域政策学部 教授
三遠南信地域連携研究センター長
戸田 敏行氏

三遠南信地域は天竜川・豊川の流域圏として、水のもたらす豊かな自然資源を基盤に生活、産業、文化を育んできました。一方で、断水や渇水の発生、水道管の老朽化など、水に関する共通の課題を抱えています。人口減少時代において、インフラの維持管理はもちろん、三遠南信地域の基盤といえる「水」の確保とさらなる有効活用のために、流域という視点から地域のつながりを再認識し、行政区域を越えた新たな広域連携の可能性を考えます。

●会場：桃山

全体会 15:00～17:00

講演 まちと地方をつくりなおす ～道とダブルケアから考える～



●講師 東京科学大学
リベラルアーツ研究教育院 教授
柳瀬 博一氏

【略歴】
1964年静岡県浜松市生まれ　静岡県立浜松西高校　慶應義塾大学経済学部を卒業後、日経マグロウヒル社（現・日経BP社）に入社「日経ビジネス」記者などを経て単行本の編集に従事。『小倉昌男 経営学』『日本美術応援団』『社長失格』『アー・ユー・ハッピー？』『流行人類学クロニクル』『養老孟司のデジタル昆虫図鑑』などを担当。ウェブメディア「日経ビジネスオンライン（現・日経ビジネス電子版）の立ち上げに参画。2018年日経BP社を退社、4月より現職。著書に『インターネットが普及したら、ぼくたちが原始人に戻っちゃったわけ』（小林弘人と共著　晶文社）『「奇跡の自然」の守りかた』（岸由二と共著、ちくまプリマー新書）『混ぜる教育』（崎谷実穂と共著、日経BP）『国道16号線「日本」を創った道』（新潮社）『親父の納棺』（幻冬舎）『カワセミ都市トーキョー』（平凡社）『上野がすごい』（滝久雄と共著　中央公論新社）『アンパンマンと日本人』（新潮新書）『虫とマンガと日本人 養老孟司のキャラクター論』（養老孟司と共著　PHP研究所）など。ラジオパーソナリティとして「ラジオNIKKEI ビズ&テックターミナル」渋谷のラジオ「渋谷の柳瀬博一研究室」。NPO法人小網代野外活動調整会議理事。

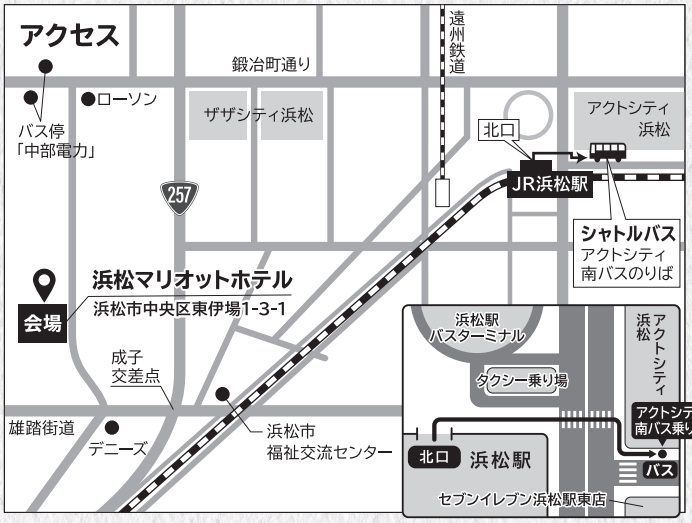
●会場：鳳（中）

交流会 17:30～18:30

●会場：鶴　●会費：8,000円

住民セッション 10:00～12:00

●会場：桃山　三遠南信住民ネットワーク協議会を中心とした三遠南信地域内の住民団体による意見交換を行います。



主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
〒430-8652 静岡県浜松市中央区元城町103-2 浜松市役所5階 浜松市企画調整部企画課内
TEL：053-457-2242 E-mail：sena@clear.ocn.ne.jp URL：https://www.sena-vision.jp/